

第52回「部落問題学習」に関する研究集会

「差別をなくす」主体者を育む部落問題学習 ～つないできた思い、つなげたい思い 小6合宿をやり続ける意味～

1. 集会開催によせて

2021年に滋賀県が実施した「人権に関する県民意識調査」の結果をみると、同和問題の解決に向けての思いをたずねた質問に対して「自分のできる限りの努力をしたい」と答えた人は15.8%で、2011年の調査結果と比べると0.7ポイント増えました。一方で「とくに努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい」と答えた人の割合が62.8%と最も高く、前回の調査よりも12.5ポイントも増加しています。

あらゆる差別問題は「差別する人」「差別される人」だけが当事者ではなく、差別のある社会を支えている私たち一人ひとりに関わる問題です。滋人教では、私たち一人ひとりが差別問題と自分自身とのつながりを見つめ直し、「差別をしない」から一歩進んだ「差別をなくす」生き方につながる人権教育を追究しています。

今回の研究集会では地域や保護者がつないできた思い、連携する学校・隣保館の取り組みについての話題提供をもとに、「差別をなくす主体者を育む部落問題学習をどう創るか」を参加者のみなさんと考えていきたいと思ひます。ぜひ、ご参加ください。

2. 主 催 公益社団法人滋賀県人権教育研究会

3. 主 管 公益社団法人滋賀県人権教育研究会「保育・授業をつくる」研究部

4. 共 催 滋賀県人権教育米原研究会

5. 後 援 滋賀県教育委員会(申請中)

6. 日 時 **8月5日(火) 13:30～16:30** (受付 13:00)

7. 会 場 **滋賀県立文化産業交流会館 第1会議室**

(米原市下多良二丁目137 TEL 0749-52-5111)

8. 日 程 13:30～13:40 開会行事と趣旨説明

13:40～15:30 話題提供・意見交流

○第75回全国人権・同和教育研究大会実践報告から

「みんな一緒に差別をなくす側になれたらいいのにな」

～私たちが部落解放長寺小6合宿をやり続ける意味～

部落解放長寺子どもを守り育てる会 寺本 絵梨子さん、久田 かよさん

○地域と共につくる部落問題学習

長寺地域総合センター 竹田 新一郎さん

15:40～16:25 研究討議

16:25～16:30 閉会行事

第52回「部落問題学習」に関する研究集会 8/6(火) 参加票

右の二次元コードまたは、この用紙のままFAX(077-525-5097)でお申し込みください。8月1日(金)までにご返信ください



(所属等)

お名前)